

# 市営住宅跡地利用 基本構想策定準備委員会

## これまでの検討内容

# 1. はじめに

- 曾野木地区では、地域活動を行っている団体が多く存在するものの、拠点となる施設が少なく、活動に支障をきたしていた。
- 市営住宅跡地には、各種団体の曾野木地区における活動のさらなる充実を視野に、コミュニティ活動拠点施設の整備を要望するとともに、地域住民が主体となって必要な機能などを検討してきた。

## 2. 検討体制

市営住宅跡地利用基本構想策定準備委員会 委員名簿(平成27年9月現在)

氏名	役職	所属
勝沼 好孝	代表	曾野木団地自治連合協議会 会長
桜田 博治	副代表	曾野木地区自治連合会 副会長
齋藤 恒弘	副代表	曾野木ニュータウン自治会 会長
野上 文彰		亀田郷土地改良区 曾野木工区 区長
高橋 良夫		新潟市農業協同組合 理事
川崎 正一		曾野木商工会 会長
野上 敏		亀田郷土地改良区 曾野木工区 副工区長
土田 昭一		曾野木団地第5自治会 会長
西脇 厚		江南方面隊曾野木分団長
中野 高子		地域教育コーディネーター
中山 徹		曾野木団地第1自治会 会長
外川 吉史		曾野木団地第2自治会 会長
大山 吉男		曾野木団地第3自治会 会長

# 3. 準備委員会の開催経過

日程	会議内容
H21.11.9	○江南区地域課との意見交換会 ・当該地の今までの経緯及び現状について
H26.5.12	○市営住宅跡地利用に関する要望書提出 ・曾野木団地自治連合会協議会会長名で市に提出
H26.11.19	○基本構想策定に向けて ・検討の進め方、スケジュールについて確認 ・市営住宅跡地利用基本構想策定準備委員会の立ち上げについて決定
H26.12.5	○第1回基本構想策定準備委員会 ・会長、副会長の選出 ・今後の取り組みについて確認
H27.3.10	○第2回基本構想策定準備委員会 ・視察「小合地区コミセン」「小須戸まちづくりセンター」
H27.6.30	【地域活動のさらなる充実に向けた検討】 ・コミュニティ協議会設立説明会の開催
H27.7.22	○第3回基本構想策定準備委員会 ・基本構想策定を進めるうえでの視点について確認(ファシリティマネジメントの推進など) ・地域で求められる活動をもとに、施設に必要な機能を検討
H27.7.31	【地域活動のさらなる充実に向けた検討】 ・コミュニティ協議会設立準備会の開催 ・曾野木地区における各種活動について
H27.8.19	○第4回基本構想策定準備委員会 ・施設の基本理念について検討 ・施設内容について検討
H27.8.31	【地域活動のさらなる充実に向けた検討】 ・曾野木地区における各種活動について
H27.9.8	○第5回基本構想策定準備委員会 ・基本構想(案)について

# 4. 準備委員会での主な意見

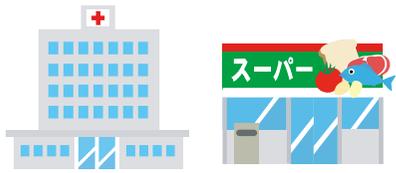
## 【コミュニティ施設について】

- 子どもから高齢者まで多世代が交流できる。
- 地域活動を活発に行える。
- 子どもが安心・安全に過ごし学習もできる。
- 災害時に一時的に避難できる。
- 時間によって使い方を換えられる。

## 【その他】

- 敷地面積が広いいため、市の方針も踏まえて公共施設の機能を再編し併設すると、さらに機能性が高まるのではないか。
- 近隣保育園に駐車場がなく、利用者・近隣住民が困っているため、コミュニティ施設と複合した施設がよいのではないか。

# 市営住宅跡地コミュニティ施設(イメージ)



鳥屋野潟南部地区  
病院、スーパー、  
スポーツ施設 など



区バス接続



・お出かけ楽々 健康寿命延伸  
・病院アクセス向上 安心安全

コミ協各種事業展開  
⇒活動財源の確保

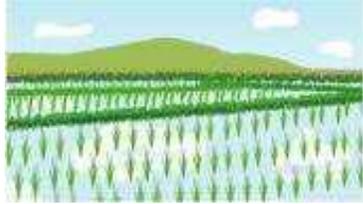


小・中学校(連携)



こどもの居場所

田園地域



直売スペース

【求められる機能など】

- コミセン・・・コミュニティ活動の「拠点」形成
- こども・高齢者等の居場所・交流・・・地域力向上
- 地域の茶の間機能・・・超高齢・少子社会対応
- 子育て支援センター・・・コミ協の支援
- 直売スペース・・・農消交流
- 災害時の地域避難拠点・・・安心安全
- 区バス接続・・・交流結節点、賑わい



コミ協地域活動  
(放課後見守り、  
学習支援など)

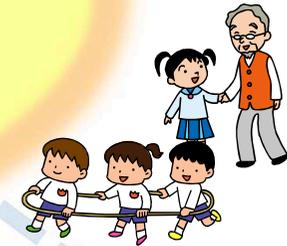
地域間交流



区バス接続



誰もが容易に行ける



市街地

地域の現状・・・  
・高齢者 外出困難  
・子育て孤立  
・コミュニティの希薄化  
・買い物難民



食育

多世代交流



介護予防・地域包括ケア



子育て支援センター

近接保育園(連携)

